

# 目 次

## 巻頭言

.....	井 上 達 男 ( i )
-------	---------------

## 論 文

定型取引条件の記号論的考察.....	亀 田 尚 己 ( 1 )
—規則と商慣習の乖離と矛盾—	

パルファン・クリスチャン・ディオール・ジャポンの マーケティング・コミュニケーション戦略.....	中 谷 安 男 ( 23 )
—チャンネル社との比較検証—	

国際ビジネスコミュニケーション研究の展望.....	藤 尾 美 佐 ( 41 )
—日本からの発信—	

ハーバード流交渉術における 「人と問題の分離」の考察.....	山 本 雄 一 郎 ( 55 )
—日本人への適用可能性の分析—	

国際商取引における紛争処理コストに 関する一考察.....	中 村 嘉 孝 ( 71 )
----------------------------------	----------------

アジアにおける保証渡しの問題点と その新しい対応策について.....	長 沼 健 ( 87 )
---------------------------------------	--------------

コーポレート・コミュニケーション活動の 今日的意義と日本企業の課題について.....	竹 田 宗 継 ( 107 )
---	-----------------

フレミングとしての社内英語公用語化.....	岡 本 真 由 美 ( 125 )
------------------------	-------------------

東アジアの国際商取引における構造変化と 対応の在り方.....	美 野 久 志 ( 141 )
—通貨の多様化と商取引への活用—	

バルト三国上場企業の ウェブサイトに見るロシア語.....	久 島 幸 雄 ( 161 )
—旧宗主国による影響の視点からの分析—	

多国籍企業の市場参入方式選択理論に

関する検討……………藤澤 武 史 (177)

—取引コスト理論、プリンシパル・エージェント理論、

ダイナミック・ケイパビリティ論からの接近—

高度人材のグローバル移動と帰国促進政策……………安田 聡 子 (201)

—インドのラマヌジャン・フェローシップと中国の百人計画—

年譜・著作目録